

たのしい な介護詩



テーマ

鍵

◎選者・今月のテーマに寄せて

ピック病婆様の実話です。鍵開けて出て行っただけじゃなく、ちゃんと開けた鍵を閉めて行っただけで、不在に気づくのも時間がかかり、マジで焦りました。夜出て行き、スタッフみんなで捜索したら、300メートル先のアパートの駐輪場で3時間後に発見されました。地域の方が不審者がいると警察に通報してくれたからです。無事に保護され、管理者が迎えに行くと、「あんたがしつかりしないから、こんなことになったんですよ」と怒られました。いやいや、あなたがある意味しつかりしすぎな認知症なだけです（笑）。

警察官も叩いたりして、はいこんちよナンバー1の暴れん坊將軍ですが、この人がナンバー1でいてくれるおかげで、ナンバー2以下の人たちは救われています。この人を排除したらナンバー2が繰り上がりになるだけですもんね。

困難ケースを諦めずに介護することは、その周辺にいる困難ケース予備軍を救っていると思えば、全国の関係者の皆さん、慰め合いながら頑張りましょうねえ。誰もほめてくれないから介護関係者だけでも連帯していきたいです。

今年度もどうぞよろしくお願いします。

鍵開けて 離設したのは 82歳

不審者通報 無事発見

保護する警察 叩きます





鍵失くし あちこち探し バッグの中

——ライラック（介護職）

選者評

ちゃんとオチがあり上手な詩です。
大切なものは実はすぐそばにある。と気づくのが鍵。



在宅で 最高記録 15個

——tomotomo0472（施設管理者）

3ロック するかしらないか それが鍵

——tomotomo0472（施設管理者）

転ばない 一番の鍵は 見守りだ

——ライラック（介護職）

不調不調 疲労回復の鍵 よく休み

——ライラック（介護職）

ピク爺 ルパンも驚愕 大脱走

——藤脇 聡（医師）

対策の 名のもと窓越し 扉越し

——藤脇 聡（医師）

やむなくと 部屋に鍵して そのあまり 自ら泣きて 3分耐えれず

——藤脇 聡（医師）

介護詩の選考風景を

YOUTUBE「たの思想な介護詩チャンネル」で大公開！

YOUTUBE「ななしやチャンネル」で、介護詩の選考の様子を動画で公開しています。

小林さんが「わかる！」「いるんですよ、こういうご利用者！」などと唸りながら詩を味わう様子は必見です。

ぜひ「ななしやチャンネル」に遊びに来てください。



チャンネル登録を
よろしくー！





「痴呆症」「認知症」へと 呼称変え むしろ広がる 差別の「ニンチ」

——藤脇 聡（医師）

選者評

これまたテクニカルな詩です。認知症の方をニンチ入っているみたいな差別表現を皮肉っているのと呼称変更しても結局差別は変わらないじゃん。むしろ広がったと偉い人をディスった内容で、あっぱれ!!



使命感 想いだけでは もう限界

——tomotomo0472（施設管理者）

忙しい 次から次へと 雑仕事

——ライラック（介護職）

検温と 血圧測定 体重と 何度も測り いい数字示し

——ライラック（介護職）

孫がくる 嬉し楽しと 心はずむ

——ライラック（介護職）

肌の色は くすみにけりな お互いに 若き世に見た 心そのままに

——藤脇 聡（医師）

厚労相 生成Aーと 代わったら？

——藤脇 聡（医師）

小林さんには投稿者のお名前も伏せて
選考していただいています。（編集部）

